

清明節に先人を偲ぶ

桜が満開となり、清明節の時期を迎え、横浜市中区大芝台の中華義荘には連日多くの僑胞が墓参りに訪れていた。清明日の翌日の4月5日(土)午前11時、公益財団法人中華義荘は地藏王廟にて恒例の「清明読経供養式」を行った。一般社団法人廣東同郷会からも、会の役員らが集い、供物を備えて義荘内に眠る歴代会長ら先人を偲んだ。今年は無休とも重なったこともあり、式とは別に個人で墓参りをする参拝者の姿も多く見られた。それぞれが先祖の墓に詣で、線香を上げ、花をたむけ冥福を祈った。

なお、去年の清明節以降に安骨堂に安置された白木の位牌は、遺族らによりお焚き上げされた。

清明时节 慎终追远

樱花盛开，清明时节，连日都有许多华侨华人前往横浜市中区大芝台中华义庄扫墓。

4月5日(星期二)上午11点，清明节第二天，公益财团法人中华义庄在地藏王庙举行了一年一度的清明诵经法会。

来自广东同乡会的理监事们也齐聚一堂，祭拜并缅怀在义庄安息的历任会长和其他前辈。

由于今年的活动恰逢周末，许多信众与孝子贤孙们也前往墓地上香献花，祭祀先人祈求先人灵魂安息。

自去年清明节以来安放在安骨堂的白木牌位，由遗属们进行了焚烧的仪式。







